

## 中学校社会科単元計画例【地理的分野:アジア州】

【単元のねらい】アジア州各地域の急速な経済成長について、様々な面から比較・分析し、今後の成長についても予測して工場設置企画書をまとめることを通して、アジアの地域的特色を捉えるとともに、根拠となる資料を適切に選択し、自分の考えを説明することができるようにする。

【単元のめあて】アジアの新工場建設に向け、提案書を作ろう。  
(アジアの各地が急速に発展した理由とその将来性について考えよう。)

【単元の課題】アジア各地はどのような背景をもって、急速な発展を遂げているのだろうか。今後、どのような発展を遂げていくのだろうか。

1時	【課題】アジア各地域はどのような特徴を持っているのだろうか。	【活動】自然環境、人口や産業の特色をグラフや主題図・写真等で比較して読み取る。	【まとめ】アジア州は広く世界の約6割の人口が住んでおり、様々な文化が入り交じる。農業の近代化や都市での工業化が進んできている。
2 3時	【課題】東アジアはどのような背景をもって発展しているのだろうか。	【活動】経済の発達や背景等について、グラフや主題図・写真等から読み取り、経済政策等と関連付けて考える。	【まとめ】韓国、台湾等は早くから輸出中心の工業化に取り組みアジアNIESと呼ばれる。中国では巨大人口を背景に、経済特区や西部大開発等、政府主導の開発によって経済が大きく成長している。反面、格差が広がっている面もある。
4時	【課題】東南アジアはどのような背景をもって発展しているのだろうか。	【活動】経済の発達や背景等について、グラフや主題図・写真等から読み取り、経済協力等と関連付けて考える。	【まとめ】タイやマレーシア等はASEANを組織し、アメリカや日本企業を積極的に受け入れ、経済協力を背景に工業化を進めてきた。反面、都市問題が生じている地域もある。
5時	【課題】インドはなぜ急速に発展することができたのだろうか。	【活動】教科書のコラムや写真からインド成長の背景について読み取り、社会の情報化や政策と関連付けて考える。	【まとめ】国や州による英語や数学の教育支援によりアメリカ等への留学も多く、情報技術産業に強みを発揮しており、外国企業の進出も多い。都市問題や格差の問題が生じている。
6時	【課題】西アジア・中央アジアの発展にはどのような背景があるのだろうか。	【活動】教科書のコラムや写真から西アジア等の成長の背景について読み取り、資源と関連付けて考える。	【まとめ】西アジアでは豊かな地下資源を背景に、重化学工業化等を進めてきた。中央アジアにもレアメタル等の地下資源を背景に、成長している国々がある。

工場進出へのメリット・デメリットを考えていく。

7時 【単元のまとめ】工場建設地域について、自分の提案書を作成することを通して、各地域の発展の背景・将来性についてまとめる。

8時 【単元の振り返り】提案書をプレゼンし、候補地を絞る話し合いを行い、単元を通して、身に付いたこと、理解したことを振り返る。